

「類骨骨腫摘出後の骨形成の改善について CT による計測および評価」へご協力をお願い

東京歯科大学市川総合病院放射線科では「類骨骨腫摘出後の骨形成の改善について CT による計測および評価」という臨床研究を行っております。この研究は類骨骨腫の治療後に骨元通りに戻っていく状態を調べることを主な目的としています。そのため、類骨骨腫の摘出を受けた患者さんの治療データを使用させていただきたいと考えております。

この研究は東京歯科大学市川総合病院倫理審査委員会で審査され、病院長の許可を得て実施しております。

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

類骨骨腫は小児から若年成人に多い骨腫瘍であり、強い疼痛と骨の形成を伴う病気です。腫瘍によって反応性に作られた骨は腫瘍を切除するという治療によって元通りになっていきます。この骨の回復の程度を CT によって計測していくのが目的です。骨の形成を CT で計測する値とその大きさを計測します。

2) 予想される医学上の貢献および研究の意義

骨の回復速度が分かり、治療後の安静の程度や運動開始の時期などが適切に分かることとなります。

2. 研究の方法

1) 対象者

2010年1月1日～2016年3月31日の間に東京歯科大学市川総合病院整形外科にて類骨骨腫の治療を受けられた方

2) 研究方法

CT を使用し、腫瘍によって反応性に出現した骨の肥厚が回復する過程を調べます。骨の肥厚を CT 値とその範囲で表現し、どのくらいのスピードで回復するか観察します。

3) 使用する試料

すでに保存されている単純 X 線写真と CT を使用させていただきますが、あなたの個人情報情報は削除し、匿名化して、個人情報情報が漏洩しないように致します。

4) 使用する情報

カルテから以下の情報を使用させていただきますが、あなたの個人情報には削除し、匿名化して、個人情報漏洩しないように致します。

(使用する情報)

- ・病名、既往歴、病悩期間、治療期間
- ・検査データ：アルカリフォスファターゼ

5) 試料・情報の取り扱い

電子データの場合にはパスワードで制御されたコンピューターに保存し、その他の試料・情報も施錠可能な場所に保存します。また、研究に使用した試料・情報は、研究の中止または研究終了後5年間保存させていただいた後に適切に廃棄いたします。

6) 費用

この研究により、新たな検査や費用が生じることはありません。また、試料や情報を使用させていただいた患者さんへの謝金等もありません。

7) 結果の公表

研究の結果については、学会や専門誌等に発表されることがありますが、個人が特定できるような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。

8) 研究計画書の開示

ご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができます。

9) その他：特にありません。

あなたの試料・情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合は、お手数ですが、お申し出ください。ご了承いただけない場合でも、診療等の病院サービスにおいて患者さんへ不利益が生じることはありません。そのほか、ご質問等ありましたら、遠慮なくお問い合わせください。

<問い合わせ先>

〒272-8513 千葉県市川市菅野 5-11-13

東京歯科大学市川総合病院

電話： 047-322-0151

放射線科 小橋 優子